

平成23年度（平成22年度実施事業）

羽曳野市教育委員会 点検・評価報告書

平成24年3月

羽曳野市教育委員会

○はじめに

羽曳野市教育委員会では、平成22年度は「あい・たい・がっ・こう」を基本理念とし、学校教育、生涯学習、スポーツ振興、文化財の保護、図書館業務などの分野において、様々な施策を実施し、教育行政の充実と向上に努めたところです。

さて、平成19年6月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部が改正され、各教育委員会は、毎年、その教育行政事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することが義務づけられました。

本教育委員会は、法改正の趣旨に則し、効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民の皆様への説明責任を果たすため、平成22年度の事務事業について「教育委員会事務の自己点検・評価」を実施し、報告書にまとめました。

〈参考〉

根拠法令

○地方教育行政の組織及び運営に関する法律

第27条.(一部省略)

教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

目 次

羽曳野市教育委員会点検・評価実施要領	1
第5次羽曳野市総合基本計画に基づく事業一覧	4
点検・評価調書	7
施策番号0 教育委員会の運営	7
施策番号1 義務教育の充実	9
施策番号2 教育環境の整備・充実	12
施策番号3 教育研究所機能の充実	19
施策番号4 幼児教育の充実	21
施策番号5 子どもの居場所づくり	26
施策番号6 青少年の健全育成に向けた体制づくり	31
施策番号7 社会参加・交流機会の充実	33
施策番号8 人権教育・人権啓発の推進	42
施策番号9 生涯学習の機会と内容の充実	45
施策番号10 生涯学習を推進する仕組みづくり	48
施策番号11 図書館活動の充実	52
施策番号12 歴史的資源を活かしたまちづくりの推進	54

施策番号 13	スポーツ・レクリエーションの推進	58
施策番号 14	スポーツ・レクリエーションを推進する仕組みづくり	62
施策番号 15	施設の有効活用と効果的な管理運営	66
	評価委員の意見等	69
	羽曳野市教育委員会評価委員会設置要綱	71
	羽曳野市教育委員会組織図	72

羽曳野市教育委員会点検・評価実施要領

1. 趣旨

羽曳野市教育委員会は、毎年、主要な施策や事務事業の取組状況について点検・評価を行い、課題や取組みの方向性を明らかにすることにより、効果的な教育行政の一層の推進を図る。

また、点検・評価の結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表することにより、市民への説明責任を果たし、市民に信頼される教育行政を推進する。

2. 実施方法

(1) 第5次羽曳野市総合基本計画に掲げた施策体系を基に、懸案事項など主要な施策・事業を抽出整理し、点検・評価を行う。

(2) 教育に関し学識経験を有する者の意見を聴取し、もって知見の活用を図るため、「羽曳野市教育委員会評価委員会」を置く。

①委員は、教育に関し学識経験を有する者の中から、教育委員会が委嘱する。

②委員の任期は、2年とする。

(3) 羽曳野市教育委員会評価委員会の意見を聴取した上で、その結果を取りまとめた報告書を議会に提出する。

(4) 点検・評価の報告書は、市ホームページ等により公表する。

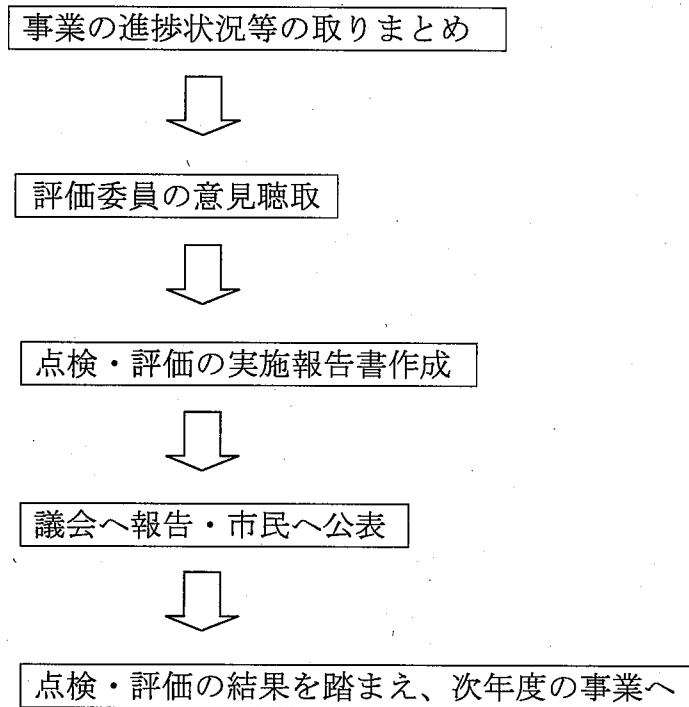
3. 点検・評価の手法

・評価対象：各課で抽出整理された主要な施策・事業とする。

・評価方法：事業実施担当課において評価シートを用い、施策・事業の評価を行うものとする。

・評価観点：点検結果、取組み後の効果、課題・方向性とする。

点検・評価の流れ



4. 評価委員（平成23年4月1日現在）（50音順 敬称略）

岡澤 潤次（関西外国語大学）

金銅 幸夫（チョーヤ梅酒(株)代表取締役会長）

森川 英子（奈良県立医科大学）

- 第5次羽曳野市総合基本計画
に基づく事業一覧

- 点検・評価調書

第5次羽曳野市総合基本計画に基づく事業一覧(平成22年度実施事業)

章名	節名	施策名	事業名	担当部署
		0. 教育委員会の運営	(1). 教育委員会運営事業	教育総務課
次代を担う子どもを育むまち	学校教育	1. 義務教育の充実	(1). スクールコーディネーター事業	学校教育課
			(2). 肢体不自由児療育センター事業	学校教育課
		2. 教育環境の整備・充実	(1). 小学校安全対策事業	教育総務課
			(2). 小・中学校運営管理事業	教育総務課
			(3). 小・中学校耐震診断・耐震補強事業	教育総務課
			(4). 古市小学校屋内運動場改築事業	教育総務課
			(5). 学校給食管理事業	学校給食センター
			(6). 学校図書館情報化活性化推進事業	学校教育課
		3. 教育研究所機能の充実	(1). 教育研究所事業	学校教育課
		4. 幼児教育の充実	(1). 幼稚園フロンティア事業	学校教育課
			(2). 幼稚園まつり事業	学校教育課
			(3). 幼稚園運営管理事業	教育総務課
	(4). 埴生幼稚園整備事業		教育総務課	
	子育て支援	5. 子どもの居場所づくり	(1). 放課後児童健全育成事業	社会教育課
			(2). 土曜子どもクラブ事業	社会教育課
			(3). 白鳥児童館管理運営事業	白鳥児童館
			(4). 放課後子ども教室推進事業	社会教育課
	青少年の健全育成	6. 青少年の健全育成に向けた体制づくり	(1). 青少年健全育成推進事業	社会教育課
		7. 社会参加・交流機会の充実	(1). 成人式開催事業	社会教育課
			(2). 野外活動推進事業	社会教育課
(3). 青少年センター管理運営事業			青少年センター	
(4). 青少年児童センター管理運営事業			青少年児童センター	
(5). ふれあいキャンプ事業			社会教育課	
(6). 青少年野外活動施設整備事業			社会教育課	
(7). 親子ふれ愛(ふる愛)事業			社会教育課	
(8). 夏休みラジオ体操事業	社会教育課			

章名	節名	施策名	事業名	担当部署
魅力ある地域 社会を拓く活力 あるまち	平和意識・人権 尊重	8. 人権教育・人権啓発 の推進	(1). 学校人権教育推進事業	学校教育課
			(2). スクールフロンティア事業	学校教育課
	生涯学習	9. 生涯学習の機会と 内容の充実	(1). 講座・教室運営事業	社会教育課
			(2). 陵南の森公民館管理運営事業	陵南の森公民館
		10. 生涯学習を推進する 仕組みづくり	(1). 社会教育振興事業	社会教育課
			(2). 市民文化祭事業	社会教育課
	市民文化・芸術	12. 歴史的資源を活かし たまちづくりの推進	(1). 文化財保護事業	社会教育課
			(2). 史跡峯ヶ塚古墳保存整備事業	社会教育課
			(3). 百舌鳥・古市古墳群世界遺産登録事業	社会教育課
	市民スポーツ・ レクリエーション	13. スポーツ・レクリエー ションの推進	(1). 大阪府総合体育大会事業	スポーツ振興課
			(2). 市民総合体育大会事業	スポーツ振興課
			(3). 各種スポーツ大会等開催業務	スポーツ振興課
		14. スポーツ・レクリエー ションを推進する仕 組みづくり	(1). 体育指導委員協議会関係事業	スポーツ振興課
			(2). 体育協会関係事業	スポーツ振興課
			(3). スポーツ少年団関係事業	スポーツ振興課
		15. 施設の有効活用と 効果的な管理運営	(1). 総合スポーツセンター管理運営事業	スポーツ振興課
			(2). 市民体育施設(総合スポーツセンター 以外)管理運営事業	スポーツ振興課

平成23年度(平成22年度実施事業)

施策点検・評価調書

整理番号	施策 0
施策名	教育委員会の運営
施策の方向	
教育委員会は、教育行政の中立性を確保するため、首長から独立した行政委員会として設置され、教育行政における重要事項や基本方針を決定し、それに基づいて具体の事務を執行し、教育行政の推進を図る。	
施策を構成する事業	
0-(1) 教育委員会運営事業	

個別事業点検・評価調書

整理番号	0-(1)
担当室課	学校教育室 教育総務課
事務事業名	教育委員会運営事業
平成22年度決算額	(3,996)千円
1. 事業の目的	
<p>次代を担う子どもたちに、豊かな人間性や確かな学力を育み、「生きる力」を身につけることができるよう教育環境などを整えるとともに、市民一人ひとりのライフスタイルに合った主体的な生きがいがづくりや知識・技術の習得を支援するため、教育行政に関する重要事項や基本方針を決定する。</p>	
2. 事業の内容(平成22年度の取組み状況)	
<p>教育行政に関する議案を審議するため、月1回の定例会、必要な時に臨時会を開催する。教育に関する一般方針の決定等を5人の教育委員による合議制により行う。</p> <p>・教育委員会議開催状況 定例会 11回 臨時会 2回</p>	
3. 点検・評価	
(1)総合評価	(A) B C D ()
(2)課題・方向性	
<p>月1回の定例会、必要な時に臨時会を開催し、意見及び提言をいただき、本市教育行政の向上に寄与しており、今後も適正かつ効率的な運営を図る。</p>	

- A 目的に適した事業推進が図られた。
- B 目的に適した事業推進が概ね図られたが、一部改善する余地があった。
- C 必要の高い事業であり実施したが、さらなる改善が必要であった。
- D その他

平成23年度(平成22年度実施事業)

施策点検・評価調書

整理番号	施策 1
施策名	義務教育の充実
施策の方向	
豊かな人間性を育むため、道徳教育、福祉教育、人権教育などを充実するとともに、基礎基本の定着を図り、学習方法の工夫改善、評価方法の工夫改善に取り組む。	
施策を構成する事業	
1-(1)スクール・コーディネーター事業 1-(2)肢体不自由児療育センター事業	

個別事業点検・評価調書

整理番号	1-(1)
担当室課	学校教育室 学校教育課
事務事業名	スクール・コーディネーター事業
平成22年度決算額	(2.363)千円
1. 事業の目的	
教職員の資質向上を図る。	
2. 事業の内容(平成22年度の取組み状況)	
教職員の資質向上のための教職員の企画によるOJT研修(各課題に対しての専門家等のコーディネーターを派遣することで、実地的な研修を行う)を実施する。	
3. 点検・評価	
(1)総合評価	(A) B C D ()
(2)課題・方向性	
現在は学年単位・学校単位での企画を原則としていあるが、幼小中一貫教育を視野に校区単位での企画も模索していきたい。課題として、現在は講師謝金のみのも事業であるが要綱等を改正し、先進校の視察や取組に必要な需用費も活用できるように必要性が出ている。	

- A 目的に適した事業推進が図られた。
- B 目的に適した事業推進が概ね図られたが、一部改善する余地があった。
- C 必要の高い事業であり実施したが、さらなる改善が必要であった。
- D その他

個別事業点検・評価調書

整理番号	1-(2)
担当室課	学校教育室 学校教育課
事務事業名	肢体不自由児療育センター事業
平成22年度決算額	(7.757)千円
1. 事業の目的	
市内在住の学齢肢体不自由児をはじめ、障がいのある児童・生徒等に対して、円滑な就学と教育の実施を行う。	
2. 事業の内容(平成22年度の取組み状況)	
西浦小学校、峰塚中学校をセンター校と位置付け介助員を配置する。週1回、機能訓練士を派遣する。児童生徒の下校時のスクールバスを運行する。市内支援学級の交流行事の充実を図る。	
3. 点検・評価	
(1)総合評価	A (B) C D ()
(2)課題・方向性	
西浦小学校・峰塚中学校のみではなく、地元の学校へ通いたい児童生徒も存在する中で、全市的に介助員の配置が必要である。	

- A 目的に適した事業推進が図られた。
- B 目的に適した事業推進が概ね図られたが、一部改善する余地があった。
- C 必要の高い事業であり実施したが、さらなる改善が必要であった。
- D その他

平成23年度(平成22年度実施事業)

施策点検・評価調書

整理番号	施策 2
施策名	教育環境の整備・充実
施策の方向	
<p>児童・生徒が、効率的・効果的に学習できるよう、コンピューター等の情報機器の更新を図るとともに、学校図書館を学習情報センターとしての機能を充実させるなど、必要な設備を充実する。</p> <p>また、施設の安全性を高めるため、老朽化した校舎、体育館などの耐震補強や改修を計画的に進めるとともに、防犯面に考慮し、登下校時の安全対策や不法侵入対策を充実する。</p>	
施策を構成する事業	
<p>2-(1) 小学校安全対策事業 2-(2) 小・中学校運営管理事業 2-(3) 小・中学校耐震診断・耐震補強事業 2-(4) 古市小学校屋内運動場改築事業 2-(5) 学校給食管理事業 2-(6) 学校図書館情報化活性化推進事業</p>	

個別事業点検・評価調書

整理番号	2-(1)
担当室課	学校教育室 教育総務課
事務事業名	小学校安全対策事業
平成22年度決算額	(17,064)千円
1. 事業の目的	
小学校校内における学校生活及び登下校時における不審者等からの安全確保を図る。	
2. 事業の内容(平成22年度の取組み状況)	
各小学校正門付近に安全管理ボックスと安全管理員を配置し、門扉の施錠、不審者発見時の通報、来校者確認の受付業務等を行う。また、小学校14校に防犯カメラを設置する。 新入学児童全員に防犯ブザーを無償貸与する。	
3. 点検・評価	
(1)総合評価	(A) B C D ()
(2)課題・方向性	
児童の安全に関する取組みとして、一定の効果があつた。教育活動時の安全を確保するとともに、登下校時を含めた児童の生命の安全、傷害の防止に努めていくことは、必要不可欠であるため、今後も事業を継続していきたいが、大阪府の交付金が平成22年度で廃止となったため、安全管理体制の再構築を行っている。	

- A 目的に適した事業推進が図られた。
- B 目的に適した事業推進が概ね図られたが、一部改善する余地があつた。
- C 必要の高い事業であり実施したが、さらなる改善が必要であつた。
- D その他

個別事業点検・評価調書

整理番号	2-(2)
担当室課	学校教育室 教育総務課
事務事業名	小・中学校運営管理事業
平成22年度決算額	(306,598)千円
1. 事業の目的	
学校の適正かつ円滑な運営管理に努め、快適で安全な学校生活を営む。	
2. 事業の内容(平成22年度の取組み状況)	
<p>小学校及び中学校の運営管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・光熱水費等の支払い及び学校備品、消耗品等の購入 ・施設修繕及び各種専門保守点検による施設維持管理 ・校務員(一部委託派遣)の配置 	
3. 点検・評価	
(1)総合評価	A (B) C D ()
(2)課題・方向性	
<p>業者支払い事務について、さらに効率化を図る余地がある。また、学校の修繕要望には老朽化が進む中、全ての要望に応えきれていない。</p> <p>今後、業者支払い事務については、学校現場と協議の上、事務処理工程の見直しや電子化を図ることで処理量を軽減したい。学校の施設修繕等は、未然に事故を防ぐため、学校現場と連携し、点検強化と迅速な対応を基本に、一層の修繕要望に応えていく。</p>	

- A 目的に適した事業推進が図られた。
- B 目的に適した事業推進が概ね図られたが、一部改善する余地があった。
- C 必要の高い事業であり実施したが、さらなる改善が必要であった。
- D その他

個別事業点検・評価調書

整理番号	2-(3)
担当室課	学校教育室 教育総務課
事務事業名	小・中学校耐震診断・耐震補強事業
平成22年度決算額	(4,078,524)千円
1. 事業の目的	
<p>学校施設の耐震性の向上を図り、児童・生徒等の安全で良好な教育環境を確保するとともに、地域の避難場所を整備する。</p>	
2. 事業の内容(平成22年度の取組み状況)	
<p>学校施設が耐震補強工事とその監理業務委託、耐震診断とその判定、実施設計の委託業務等を行う。</p> <p>平成22年度実施事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・耐震補強工事と同工事監理業務(古市小②④棟、西浦小③棟、白鳥小①棟、駒ヶ谷小①棟、羽曳が丘小②⑤棟、古市南小①④棟、恵我之荘小①②③棟、高鷲小①②③棟、丹比小①棟、埴生南小②棟、高鷲南小①②棟、高鷲中①③棟、高鷲南中①②棟、羽曳野中①②③⑤⑥棟) ・耐震診断・判定(西浦小①棟、白鳥小②棟、古市南小②③棟、埴生南小①③棟、羽曳が丘小①③棟、高鷲小④棟、高鷲南小③④棟、丹比小③棟、埴生小①～⑦⑨棟、菅田中①他8棟、峰塚中①②④⑥棟、羽曳野中④棟、高鷲中②棟) ・実施設計(高鷲南小①②棟、峰塚中⑥棟、高鷲南中①②棟) 	
3. 点検・評価	
(1)総合評価	(A) B C D ()
(2)課題・方向性	
<p>学校施設の耐震化については市民の関心も高く、可能な限り早急に耐震化率100%を目指す必要がある。平成22年度の耐震補強工事実施の結果、耐震化率が大幅に向上した(平成22年度当初41.5%→平成22年度末71.3%)が、今後も耐震化率100%の早期達成を目指して、必要な学校建物については継続して耐震工事を図る。</p>	

- A 目的に適した事業推進が図られた。
- B 目的に適した事業推進が概ね図られたが、一部改善する余地があった。
- C 必要の高い事業であり実施したが、さらなる改善が必要であった。
- D その他

個別事業点検・評価調書

整理番号	2-(4)
担当室課	学校教育室 教育総務課
事務事業名	古市小学校屋内運動場改築事業
平成22年度決算額	(183,062)千円
1. 事業の目的	
老朽化の講堂に代わって、新たに屋内運動場と校舎の改築を行い、教育環境の充実と災害時の避難場所としての安全確保を図る。	
2. 事業の内容(平成22年度の取組み状況)	
講堂上部の教室部分に代わる校舎改築工事を実施した。また、平成23年度予定の講堂・渡り廊下解体、渡り廊下新設工事の実施設計を行った。さらに、屋内運動場敷地について借地部分の整理を行うために土地調査を行った。 概要: 屋内運動場 工事期間 平成20~21年度 鉄筋コンクリート造 930㎡ 改築校舎棟 工事期間 平成22年度 鉄筋コンクリート造 675㎡	
3. 点検・評価	
(1)総合評価	(A) B C D ()
(2)課題・方向性	
年度ごとの計画に沿って、順調に進捗している。平成23年度には、講堂の解体、またこれに接続している渡り廊下の解体・新設の工事が予定されている。屋内運動場敷地内の借地については、一定の整理を行い、平成24年度を目途に土地交換等を行う予定。	

- A 目的に適した事業推進が図られた。
- B 目的に適した事業推進が概ね図られたが、一部改善する余地があった。
- C 必要の高い事業であり実施したが、さらなる改善が必要であった。
- D その他

個別事業点検・評価調書

整理番号	2-(5)
担当室課	学校教育室 教育総務課 学校給食センター
事務事業名	学校給食管理事業
平成22年度決算額	(299,805)千円
1. 事業の目的	
<p>教育の一環として、安全・安心な給食を提供し、児童の心身の健全な発達に資する。</p>	
2. 事業の内容(平成22年度の取組み状況)	
<p>平成22年度は、小学校14校の児童に1日約7,100食の給食を提供するため、第1・第2センターを管理運営するとともに、調理委託先の(有)はびきのエル・エスとの調理・配送業務に係る連絡調整を実施。また、栄養教諭を中心とした学校訪問による食育指導や試食会などを通じて、児童や保護者における給食に対する理解を深めるための活動を実施した。</p> <p>学校給食会事務局として、会計管理及び学校長・教員・PTA代表等を委員とする献立作成・物資購入委員会を開催し、献立立案、物資調達調整を実施した。</p>	
3. 点検・評価	
(1)総合評価	A B (C) D ()
(2)課題・方向性	
<p>施設・設備面で対応が必要な事項も残されているが、学校給食衛生管理基準の規定に基づく衛生管理を進めていくため、市、栄養教諭、(有)はびきのエル・エスが協働して、関係機関の協力も得ながら改善していく必要がある。施設の老朽化により、トラブルが多々発生している状況であるが、施設の改修や設備の改善については、センター建て替え予定を含めたスケジュールを基に、計画的に進める必要がある。</p> <p>また、従来から(有)はびきのエル・エスとの役割分担等が不明瞭なところが残されており、それらを明確化する必要がある。</p>	

- A 目的に適した事業推進が図られた。
- B 目的に適した事業推進が概ね図られたが、一部改善する余地があった。
- C 必要の高い事業であり実施したが、さらなる改善が必要であった。
- D その他

個別事業点検・評価調書

整理番号	2-(6)
担当室課	学校教育室 学校教育課
事務事業名	学校図書館情報化活性化推進事業
平成22年度決算額	(1.286)千円
1. 事業の目的	
学校図書館が読書活動、調べ学習、情報収集の場として活性化し、学力向上に資する。	
2. 事業の内容(平成22年度の取組み状況)	
各校の学習活動において、必要となる図書を効率的に供給し、児童・生徒の学習活動や読書活動、調べ学習等で図書館利用を推進するため、学校間相互及び公共図書館との検索システムを構築し、学校図書館司書を配置することで、より適切な学校図書館の活用を促進する。また、学校間や学校と公共図書館との間の書籍配送業者による物流システムを構築し、迅速な図書の配送を行うものである。物流システム等は、他市でもあまり例のない全国的にも先進的な取り組みである。	
3. 点検・評価	
(1)総合評価	(A) B C D ()
(2)課題・方向性	
本事業によって構築した公共図書館を含めた蔵書検索システム、物流システムの効率的な活用を図る。	

- A 目的に適した事業推進が図られた。
- B 目的に適した事業推進が概ね図られたが、一部改善する余地があった。
- C 必要の高い事業であり実施したが、さらなる改善が必要であった。
- D その他

平成23年度(平成22年度実施事業)

施策点検・評価調書

整理番号	施策 3
施策名	教育研究所機能の充実
施策の方向	
いじめ事案や不登校児童・生徒、人間関係をうまく築けない児童・生徒の増加など社会環境の変化に対応するため、相談機能の充実、児童・生徒及びその保護者への支援体制の充実を図る。	
施策を構成する事業	
3-(1)教育研究所事業	

個別事業点検・評価調書

整理番号	3-(1)
担当室課	学校教育室 学校教育課
事務事業名	教育研究所事業
平成21年度決算額	(800)千円
1. 事業の目的	
教育活動への支援	
2. 事業の内容(平成22年度の取組み状況)	
<input type="checkbox"/> 相談活動・・・ひまわりコール(電話による相談窓口、臨床心理士による面接・カウンセリング) <input type="checkbox"/> 適応指導教室・・・ひまわり教室(不登校児童生徒に対して、小集団による学習支援・体験活動を通して学校復帰をめざす) <input type="checkbox"/> 調査研究・・・不登校・問題行動等の調査分析を通して、課題発見・課題解決方針を検討する <input type="checkbox"/> 教材等の提供・視聴覚教材資料等の貸出	
3. 点検・評価	
(1)総合評価	(A) B C D ()
(2)課題・方向性	
家庭支援を必要とするケースが増加している中で、今後も適切な相談事業を実施していく。	

- A 目的に適した事業推進が図られた。
- B 目的に適した事業推進が概ね図られたが、一部改善する余地があった。
- C 必要の高い事業であり実施したが、さらなる改善が必要であった。
- D その他

平成23年度(平成22年度実施事業)

施策点検・評価調書

整理番号	施策 4
施策名	幼児教育の充実
施策の方向	
<p>園児一人ひとりが人間性、社会性の基礎を培い、豊かな感性を育むため、個々の発達段階に応じたきめ細やかな指導を行い、教職員の資質向上に努める。</p> <p>また、保護者への情報周知や相談機能を高め、保護者とともに園児のすこやかな成長を育む取組みを進める。</p> <p>さらに、幼稚園の耐震補強や不法侵入対策など、施設・設備の整備に取り組むとともに、園児の減少に伴うニーズの変化や地域の実情などを踏まえ、効率的な運営と適正配置など今後のあり方について検討する。</p>	
施策を構成する事業	
<p>4-(1) 幼稚園フロンティア事業</p> <p>4-(2) 幼稚園まつり事業</p> <p>4-(3) 幼稚園運営管理事業</p> <p>4-(4) 埴生幼稚園整備事業</p>	

個別事業点検・評価調書

整理番号	4-(1)
担当室課	学校教育室 学校教育課
事務事業名	幼稚園フロンティア事業
平成22年度決算額	(280)千円
1. 事業の目的	
幼稚園教育の充実と地域に開かれた特色ある幼稚園づくりの推進	
2. 事業の内容(平成22年度の取組み状況)	
幼稚園教育要領の趣旨に沿い、生涯学習の基礎を培う幼稚園教育の一層の充実に努め、社会の変化に応じた指導方法の改善充実に関する研究及び地域に開かれた幼稚園づくりに関する研究など先進的な取組に対して助成を行う。	
3. 点検・評価	
(1)総合評価	A (B) C D ()
(2)課題・方向性	
財政的な課題がある中で、今後も、地域との協働関係の中で無償ボランティアも視野に入れる必要が出てきているが、現段階ではPTAから謝金を出していただく現状があり、保護者からの苦言も出てきている。	

- A 目的に適した事業推進が図られた。
- B 目的に適した事業推進が概ね図られたが、一部改善する余地があった。
- C 必要の高い事業であり実施したが、さらなる改善が必要であった。
- D その他

個別事業点検・評価調書

整理番号	4-(2)
担当室課	学校教育室 学校教育課
事務事業名	幼稚園まつり事業
平成22年度決算額	(703)千円
1. 事業の目的	
豊かな心を育むとともに幼稚園教育への理解を深める。	
2. 事業の内容(平成22年度の取組み状況)	
市内14幼稚園の全園児が毎年11月に羽曳野コロセアムのメインアリーナに集い、発表会と交流を行う。内容として、パラバルーンやダンス等幼稚園教育要領に沿った内容である。	
3. 点検・評価	
(1)総合評価	A (B) C D ()
(2)課題・方向性	
感染症対策の必要性と、保護者等の意見も参考にしながら他の効果的な手法や開催方法を含め検討の余地がある。	

- A 目的に適した事業推進が図られた。
- B 目的に適した事業推進が概ね図られたが、一部改善する余地があった。
- C 必要の高い事業であり実施したが、さらなる改善が必要であった。
- D その他

個別事業点検・評価調書

整理番号	4-(3)
担当室課	学校教育室 教育総務課
事務事業名	幼稚園運営管理事業
平成22年度決算額	(34,232)千円
1. 事業の目的	
適正かつ円滑な運営管理に努め、快適で安全な幼稚園生活を営む。	
2. 事業の内容(平成22年度の取組み状況)	
<p>幼稚園の管理運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・光熱水費等の支払い及び幼稚園備品、消耗品等の購入 ・施設修繕及び各種専門保守点検・施設維持管理 ・園務員の配置 	
3. 点検・評価	
(1)総合評価	A (B) C D ()
(2)課題・方向性	
<p>業者支払い事務について、さらに効率化を図る余地がある。また、園の修繕要望が、施設の老朽化が高まる中、全ての要望に応えきれていないので、時間・予算面で考慮する必要がある。</p> <p>今後、業者支払い事務については、園と協議の上、事務処理工程の見直しや電子化を図ることで処理量を軽減したい。園の施設修繕等は、未然に事故を防ぐため、園と連携し、点検強化と迅速な対応を基本に、一層の修繕要望に応じていく。</p>	

- A 目的に適した事業推進が図られた。
- B 目的に適した事業推進が概ね図られたが、一部改善する余地があった。
- C 必要の高い事業であり実施したが、さらなる改善が必要であった。
- D その他

個別事業点検・評価調書

整理番号	4-(4)
担当室課	学校教育室 教育総務課
事務事業名	埴生幼稚園整備事業
平成22年度決算額	(7,308)千円
1. 事業の目的	
耐震性能を確保するために、埴生幼稚園を移転改築して、快適な教育環境を整備する。	
2. 事業の内容(平成22年度の取組み状況)	
平成22年度においては、埴生幼稚園移転改築の実施設計を行う。平成23年度に移転改築工事を予定。 概要:鉄骨造2階建 489.84㎡(一部、既存校舎改修を含む)	
3. 点検・評価	
(1)総合評価	(A) B C D ()
(2)課題・方向性	
平成22年度においては、埴生幼稚園移転改築の実施設計を行った。早急に耐震性能を確保した園舎を完成させる必要があるため、引き続き平成23年度には移転改築工事を行う予定である。	

- A 目的に適した事業推進が図られた。
- B 目的に適した事業推進が概ね図られたが、一部改善する余地があった。
- C 必要の高い事業であり実施したが、さらなる改善が必要であった。
- D その他

平成23年度(平成22年度実施事業)

施策点検・評価調書

整理番号	施策 5
施策名	子どもの居場所づくり
施策の方向	
思いやりのある子どもを育むため、また、子どもに安全で、安心して時間を過ごせるよう、親子のふれあえる場や子どもが交流できる場づくりに取り組む。	
施策を構成する事業	
5-(1) 放課後児童健全育成事業 5-(2) 土曜子どもクラブ事業 5-(3) 白鳥児童館管理運営事業 5-(4) 放課後子ども教室推進事業	

個別事業点検・評価調書

整理番号	5-(1)
担当室課	生涯学習室 社会教育課
事務事業名	放課後児童健全育成事業
平成22年度決算額	(89,638)千円
1. 事業の目的	
<p>就労等により、放課後に保護者が家庭にいない小学校低学年(1年生～3年生)の児童を対象に、児童の安全を守り、遊びや異年齢の集団生活を通じて、健康で自主性や社会性を備えた豊かな人間性を育てる。</p>	
2. 事業の内容(平成22年度の取組み状況)	
<p>就労等により、放課後保護者の保護下にはない児童(小学校1年生～3年生)を対象に、学習(宿題)への促しや、集団での生活及び遊びを指導員の指導のもとで行う。子どもたちが楽しく生き生きと生活を過ごせるように、児童の安全を第一に、遊びを中心とした活動を行っている。</p> <p>開会時間は、平日の放課後から午後5時まで。長期休業及び学校が休校の場合は、午前9時から午後5時まで。</p> <p>使用料(月額)として、第1子5,000円、第2子以降2,500円を徴収している。</p>	
3. 点検・評価	
(1)総合評価	A (B) C D ()
(2)課題・方向性	
<p>①在校児童数は減少しているが、共働きの増加等に伴い入会児童数は増加傾向である。また、小学校によっては入会児童の増加が著しく、それに伴い施設の充実が問題となっている。そして、開設時間の延長や土曜日の開設の検討も課題となっている。</p> <p>②児童の健全な育成と保護者からの信頼を得るためには、指導員のより高い専門知識が求められている。国のガイドラインに基づき、指導員の質の向上のための研修等の充実が課題となっている。</p> <p>③放課後子ども教室推進事業との連携を検討する。</p>	

- A 目的に適した事業推進が図られた。
- B 目的に適した事業推進が概ね図られたが、一部改善する余地があった。
- C 必要の高い事業であり実施したが、さらなる改善が必要であった。
- D その他

個別事業点検・評価調書

整理番号	5-(2)
担当室課	生涯学習室 社会教育課
事務事業名	土曜子どもクラブ事業
平成22年度決算額	(840)千円
1. 事業の目的	
<p>青少年の健全育成や不登校問題の解決に向けて地域ぐるみの交流を推進し、子どもの居場所づくり活動を通じた人との交流を進めることで、地域の活性化を進める。</p>	
2. 事業の内容(平成22年度の取組み状況)	
<p>全児童(小学1年生～6年生)及び地域住民を対象に、各種スポーツや伝承遊びを参加人数延べ3,494人、年間44回実施した。</p>	
3. 点検・評価	
(1)総合評価	(A) B C D ()
(2)課題・方向性	
<p>市内14小学校の内、9小学校で実施している。他の5校については、放課後子ども教室推進事業に移行している。 丹比・高鷲・西浦小学校の3校については、年度後半より放課後子ども教室推進事業に移行した。</p>	

- A 目的に適した事業推進が図られた。
- B 目的に適した事業推進が概ね図られたが、一部改善する余地があった。
- C 必要の高い事業であり実施したが、さらなる改善が必要であった。
- D その他

個別事業点検・評価調書

整理番号	5-(3)
担当室課	生涯学習室 社会教育課 白鳥児童館
事務事業名	白鳥児童館管理運営事業
平成22年度決算額	(4,139)千円
1. 事業の目的	
<p>児童に健全な遊びを与え、その健康を増進し、情操を豊かにする。</p>	
2. 事業の内容(平成22年度の取組み状況)	
<p>大きく5つの領域別で年間事業を実施している。</p> <p>① いろいろな体験・工作(チャレンジルーム、トライルーム、体験教室、自由教室)</p> <p>② スポーツ・レクリエーション、伝承あそび</p> <p>③ 絵本のへや</p> <p>④ わくわく子育てひろば(みんなで遊ぼう、子育て教室、手作りひろば)</p> <p>⑤ 大きなイベント(児童館まつり、ふれあいお茶会、絵本のへやフェスティバル)</p>	
3. 点検・評価	
(1)総合評価	(A) B C D ()
(2)課題・方向性	
<p>本施設は、自由に遊べる施設として開放し、幼児、児童、親子連れで利用されている。児童館として、児童の心身両面における健全育成を図るために各種事業を実施し、また、地域の世代間交流の場、親子のコミュニケーションの場となっている。</p> <p>今後も児童の健全育成活動の拠点施設として児童館事業の充実を図っていく。</p>	

- A 目的に適した事業推進が図られた。
- B 目的に適した事業推進が概ね図られたが、一部改善する余地があった。
- C 必要の高い事業であり実施したが、さらなる改善が必要であった。
- D その他

個別事業点検・評価調書

整理番号	5-(4)
担当室課	生涯学習室 社会教育課
事務事業名	放課後子ども教室推進事業
平成22年度決算額	(4,135)千円
1. 事業の目的	
<p>放課後や土曜日に学校の施設を利用して、安全で安心な居場所を確保するとともに、児童が遊びや文化活動、地域の人々との交流活動等を行うことにより、自主性・協調性及び創造性豊かな心を育むように支援することを目的とする。</p>	
2. 事業の内容(平成22年度の取組み状況)	
<p>本事業は、平成20年10月より「羽曳野市放課後子ども教室」として、市内14小学校中、高鷲南・白鳥小学校区でモデル校として実施を始め、平成21年度は埴生南・古市南・埴生小学校区においても実施を始めた。但し、埴生南・古市南小学校区においては、平日は、その他の校区のような毎週水曜日に行われる「放課後子ども教室」とは異なって、「まなび舎Kids」を基本的に毎週月・木曜日に実施する形態を採った。</p> <p>平成22年度からは、新たに丹比・西浦・高鷲小学校区でも実施し、事業実績は、8小学校区で延べ244回の教室を開催、参加児童延べ10,178名が参加した。</p> <p>教室の開催日は、上記の「まなび舎Kids」以外は、基本的に毎週水曜日と月1回の土曜日とし、水曜日は授業終了後1.5時間程度、土曜日は午前中の2時間程度を実施した。</p> <p>主な教室内容は、ドッジボールやグラウンド・ゴルフなどのスポーツ教室や昔遊び(けん玉や折り紙)などの伝承遊び等、様々な活動を行った。</p>	
3. 点検・評価	
(1) 総合評価	A (B) C D ()
(2) 課題・方向性	
<p>平成19年度から国の事業として「放課後子どもプラン(文部科学省では放課後子ども教室推進事業)」が実施され、府では「おおさか元気広場推進事業」として事業化されている。</p> <p>当市では平成20年度に2校区、平成21年度に5校区、平成22年度には8校区と、実施校区を徐々に増加させてきた。</p> <p>その中で特に課題として挙げられることは、地域と学校関係者の協力を受けることが不可欠な事業であるため連絡・調整に時間がかかってしまうことである。そのため、少数の人員配置では担当できる校区の数に限界がある。</p> <p>よって今後、当該事業の実施を推進していくためには、配置人員数の整備を始めとして、予算等の庁内体制の確立や、校区ごとの放課後子ども教室実行委員会の立ち上げ、空き教室や講師の確保等、諸条件の整備を図っていかなければならない。</p>	

- A 目的に適した事業推進が図られた。
- B 目的に適した事業推進が概ね図られたが、一部改善する余地があった。
- C 必要の高い事業であり実施したが、さらなる改善が必要であった。
- D その他

平成23年度(平成22年度実施事業)

施策点検・評価調書

整理番号	施策 6
施策名	青少年の健全育成に向けた体制づくり
施策の方向	
日々多発する青少年犯罪をみても、凶悪化・低年齢化が叫ばれており、また、被害者となるケースも多数見られる現状の中、青少年が健全に過ごせる環境を整えることは喫緊の課題であると捉え、幼少期からの健全育成への取り組み、青年期の健全な活動場所・機会の提供など、青少年健全育成関係団体と協力し積極的に実施する。	
施策を構成する事業	
6-(1) 青少年健全育成推進事業	

個別事業点検・評価調書

整理番号	6-(1)
担当室課	生涯学習室 社会教育課
事務事業名	青少年健全育成推進事業
平成22年度決算額	(10,414)千円
1. 事業の目的	
青少年の健全育成に関わる各団体と協働して、青少年の健全育成の推進を図る。	
2. 事業の内容(平成22年度の取組み状況)	
青少年指導員連絡協議会では、青少年指導員による有害環境浄化の取り組みとして、校区内パトロール、街頭指導などを行い、青少年健全育成推進協議会では、青少年健全育成活動として、非行防止の講演会、ふれあいまつりなどを行った。	
3. 点検・評価	
(1)総合評価	(A) B C D ()
(2)課題・方向性	
地域の子どもは地域で守り、育てていくことは重要な課題であり、今後一層充実していくことが求められている。	

- A 目的に適した事業推進が図られた。
- B 目的に適した事業推進が概ね図られたが、一部改善する余地があった。
- C 必要の高い事業であり実施したが、さらなる改善が必要であった。
- D その他

平成23年度(平成22年度実施事業)

施策点検・評価調書

整理番号	施策 7
施策名	社会参加・交流機会の充実
施策の方向	
希薄になりがちな、青少年と地域社会との交流の機会を充実させ、インターネットや携帯電話を通してではなく、直接に触れ合うことによる、知識・感性の吸収や、経験を積み重ねていくことにより、青少年の協調性・社会性を育てていく。	
施策を構成する事業	
7-(1) 成人式開催事業 7-(2) 野外活動推進事業 7-(3) 青少年センター管理運営事業 7-(4) 青少年児童センター管理運営事業 7-(5) ふれあいキャンプ事業 7-(6) 青少年野外活動施設整備事業 7-(7) 親子ふれ愛(ふる愛)事業 7-(8) 夏休みラジオ体操事業	

個別事業点検・評価調書

整理番号	7-(1)
担当室課	生涯学習室 社会教育課
事務事業名	成人式開催事業
平成22年度決算額	(2,829)千円
1. 事業の目的	
全国的な事業として、成人を迎えた青少年に対して、成人としての自覚を促し、祝福する。	
2. 事業の内容(平成22年度の取組み状況)	
平成2年4月2日から平成3年4月1日までに生まれた者を対象に成人式典を開催した。	
対象者数 総数 1,198人(平成22年10月1日現在) 内訳〔男〕576人 〔女〕622人	
出席者数 総数 920人(出席率 76.7%) 内訳〔男〕469人 〔女〕451人	
第1部は午前11時から11時30分まで、はびきのコロセアム・サブアリーナにおいて式典を開催し、新成人代表による『誓いの言葉』の発表、来賓による祝辞等を実施。	
第2部は『はたちのつどい』と題して、メインアリーナにおいて立食パーティー形式で成人式実行委員会運営のもと、市内公立学校の恩師からのビデオレター上映や抽選会を実施。	
3. 点検・評価	
(1)総合評価	Ⓐ B C D ()
(2)課題・方向性	
全国的な式典であり、参加率も76.7%以上と高く、ニーズも高いと判断されるので、今後も継続していく。	

- A 目的に適した事業推進が図られた。
- B 目的に適した事業推進が概ね図られたが、一部改善する余地があった。
- C 必要の高い事業であり実施したが、さらなる改善が必要であった。
- D その他

個別事業点検・評価調書

整理番号	7-(2)
担当室課	生涯学習室 社会教育課
事務事業名	野外活動推進事業
平成22年度決算額	(1,210)千円
1. 事業の目的	
青少年に自然とのふれあい体験活動の場を与え、心豊かな青少年の育成を図る。	
2. 事業の内容(平成22年度の取組み状況)	
青少年に、野外炊飯場、グラウンド、体育館、プールなど野外活動の場所の提供を行う。	
3. 点検・評価	
(1) 総合評価	(A) B C D ()
(2) 課題・方向性	
現在は無料で提供しているが、今後は受益者負担の検討が必要と思われる。	

- A 目的に適した事業推進が図られた。
- B 目的に適した事業推進が概ね図られたが、一部改善する余地があった。
- C 必要の高い事業であり実施したが、さらなる改善が必要であった。
- D その他

個別事業点検・評価調書

整理番号	7-(3)
担当室課	生涯学習室 社会教育課 青少年センター
事務事業名	青少年センター管理運営事業
平成22年度決算額	(2,849)千円
1. 事業の目的	
<p>青少年の自主的な学習と憩いの場を提供し、心身ともに健全な青少年の仲間づくりを進める。</p>	
2. 事業の内容(平成22年度の取組み状況)	
<p>定期教室(茶道、華道、書道、着付け、児童画教室、将棋教室など)及び短期教室(折り紙教室、手作り工作教室)の開催</p>	
3. 点検・評価	
(1)総合評価	A (B) C D ()
(2)課題・方向性	
<p>本施設は、定期教室、短期教室など各種教室の実施や青少年の施設利用、また、青少年関係団体(こども会育成連絡協議会、青少年リーダー会など)の活動場所として、青少年健全育成にかかる本市東地区の拠点施設となっているが、特に定期教室における青年層の利用促進が課題である。 また、老朽化が著しく、施設構造や設備上の課題がある。</p>	

- A 目的に適した事業推進が図られた。
- B 目的に適した事業推進が概ね図られたが、一部改善する余地があった。
- C 必要の高い事業であり実施したが、さらなる改善が必要であった。
- D その他

個別事業点検・評価調書

整理番号	7-(4)
担当室課	生涯学習室 社会教育課 青少年児童センター
事務事業名	青少年児童センター管理運営事業
平成22年度決算額	(16,929)千円
1. 事業の目的	
<p>基本的人権尊重の精神に基づき青少年児童の健全で豊かな交流を通じて、健康を増進し、豊かな情操を培い、教育・文化活動の育成とスポーツ活動の推進を図る。</p>	
2. 事業の内容(平成22年度の取組み状況)	
<p>①青少年学習活動支援事業 : 子ども文化教室・サッカー教室・子どもおもしろ教室 将棋教室・子ども広場・一般開放</p> <p>②子育て支援事業 : 子育てセミナー・親子体操・教育相談・図書整備</p> <p>③自主活動支援事業 : 中学生学力向上教室・中学生スポーツ教室・夏休み子ども教室</p> <p>④情報提供事業 : 青少年児童センターだより・子育てセミナー案内・広報等</p> <p>⑤貸し館事業 : 運動広場・体育館・会議室・学習室等</p>	
3. 点検・評価	
(1)総合評価	A (B) C D ()
(2)課題・方向性	
<p>学習活動支援、子育て支援など青少年児童の活動推進のため、本センターにおいて各教室の充実と参加の増加に努めるとともに、子どもにとって安全・安心できる居場所につながる地域コミュニティづくりをめざしてきた。</p> <p>青少年児童の利用も多く、放課後や夏休みの安全な活動場所として、青少年児童の育成に必要であることから、今後、家庭・学校・地域が連携して本センターの機能を充実していく必要がある。特に、21年度で児童クラブ「コスモス」の終了に伴い、より一層の居場所づくりの拡大を図る必要性が増大している。</p>	

- A 目的に適した事業推進が図られた。
- B 目的に適した事業推進が概ね図られたが、一部改善する余地があった。
- C 必要の高い事業であり実施したが、さらなる改善が必要であった。
- D その他

個別事業点検・評価調書

整理番号	7-(5)
担当室課	生涯学習室 社会教育課
事務事業名	ふれあいキャンプ事業
平成22年度決算額	(167)千円
1. 事業の目的	
<p>青少年の自立や自主性・協調性を養い、体験活動や異年齢との共同作業等を通じて健全育成を推進する。</p>	
2. 事業の内容(平成22年度の取組み状況)	
<p>市内在住・在学等の小学生と保護者を対象に、親子ふれあいキャンプを開催。5組の親子を宿泊キャンプ参加者、8組の親子をデイキャンプ参加者として実施した。</p> <p>主な内容としては、 デイキャンプ・・・ぶどう狩り体験、テント設営体験、昼食づくりなど 宿泊キャンプ・・・テント設営体験、夕食づくり(バーベキュー)、花火観賞など</p>	
3. 点検・評価	
(1)総合評価	(A) B C D ()
(2)課題・方向性	
<p>今後も定員を設定しての事業となるが、応募が増加すると推測され、適切な受け入れ人数の設定やスタッフの確保が必要になる。施設管理事業者への事業委託など官民一体で取り組み、コスト削減に努め、より効果のあるキャンプ事業を目指したい。</p>	

- A 目的に適した事業推進が図られた。
- B 目的に適した事業推進が概ね図られたが、一部改善する余地があった。
- C 必要の高い事業であり実施したが、さらなる改善が必要であった。
- D その他

個別事業点検・評価調書

整理番号	7-(6)
担当室課	生涯学習室 社会教育課
事務事業名	青少年野外活動施設整備事業
平成22年度決算額	(7,358)千円
1. 事業の目的	
<p>青少年野外活動施設のグレープヒルスポーツ公園内にキャンプ場を建設するため、平成21年3月末日にキャンプサイト整備工事を主とした1期工事が完了。平成21年度は、公園内の施設改修を重点においた「平成21年度グレープヒル野外活動施設整備工事」“2期工事”を実施して、野外活動施設の充実を図る。</p> <p>平成22年度は、宿泊施設として充実を図るため、既存施設『管理棟』を整備し、より手軽に利用できる身近な野外活動施設を整備する。</p>	
2. 事業の内容(平成22年度の取組み状況)	
<p>宿泊施設工事の主な概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内装工事(和室の新設、照明器具、空調設備の整備) ・浄化槽の新設 ・施設内電気工事 等 	
3. 点検・評価	
(1)総合評価	Ⓐ B C D ()
(2)課題・方向性	
<p>グレープヒルスポーツ公園キャンプ場「ふれ愛広場」が完成したことに伴い、平成22年度に同スポーツ公園の管理棟に宿泊室を整備した。今後、キャンプ場の利用を促進するため、ホームページの充実や専用ポスターを作成し、公共施設や学校などに掲示し、PRに努める。</p>	

- A 目的に適した事業推進が図られた。
- B 目的に適した事業推進が概ね図られたが、一部改善する余地があった。
- C 必要の高い事業であり実施したが、さらなる改善が必要であった。
- D その他

個別事業点検・評価調書

整理番号	7-(7)
担当室課	生涯学習室 社会教育課
事務事業名	親子ふれ愛(ふる愛)事業
平成22年度決算額	(1,254)千円
1. 事業の目的	
銭湯の場を通じ、希薄になった、子どもたちと地域社会の、「ふれあい」を深める。	
2. 事業の内容(平成22年度の取組み状況)	
市内公衆浴場が実施している保護者と同年の小学生以下の児童・幼児を対象に、無料で入浴できるようにしている事業に対し助成を行い、保護者や地域の人達との入浴を通じた「ふれあい」による青少年の健全育成と健康の増進を図る。	
実施機関	市内公衆浴場 5ヶ所
実施日	日曜日(1月、8月は休み)
3. 点検・評価	
(1)総合評価	A (B) C D ()
(2)課題・方向性	
子どもたちが、地域の大人と肌でふれあうことは大切であり、本市の特色的な事業となっている。	

- A 目的に適した事業推進が図られた。
- B 目的に適した事業推進が概ね図られたが、一部改善する余地があった。
- C 必要の高い事業であり実施したが、さらなる改善が必要であった。
- D その他

個別事業点検・評価調書

整理番号	7-(8)
担当室課	生涯学習室 社会教育課
事務事業名	夏休みラジオ体操事業
平成22年度決算額	(397) 千円
1. 事業の目的	
<p>青少年と地域との交流の場のひとつとして、夏休みラジオ体操への参加を促し、青少年の健全育成に資する。</p>	
2. 事業の内容(平成22年度の取組み状況)	
<p>夏休みラジオ体操者数 約4,400人 参加者に対して、参加者カードや、参加記念品の配布を行った。</p>	
3. 点検・評価	
(1)総合評価	(A) B C D ()
(2)課題・方向性	
<p>指導者として参加している大人たちとの交流の場となるとともに、夏休み中の、気が緩みがちな子どもたちに、規則正しい生活習慣をつけさせるという意味でも、青少年の健全育成に有効な事業であり、地域での積極的な参加を促していく。</p>	

- A 目的に適した事業推進が図られた。
- B 目的に適した事業推進が概ね図られたが、一部改善する余地があった。
- C 必要の高い事業であり実施したが、さらなる改善が必要であった。
- D その他

平成23年度(平成22年度実施事業)

施策点検・評価調書

整理番号	施策 8
施策名	人権教育・人権啓発の推進
施策の方向	
各学校園において、人権教育・同和教育を実施し、教職員をはじめとして児童・生徒の人権感覚の醸成を図る。併せて、あらゆる人権課題に対し、正しい理解と認識を持った児童・生徒を育成する。	
施策を構成する事業	
8-(1)学校人権教育推進事業 8-(2)スクール・フロンティア事業	

個別事業点検・評価調書

整理番号	8-(1)
担当室課	学校教育室 学校教育課
事務事業名	学校人権教育推進事業
平成22年度決算額	(360)千円
1. 事業の目的	
園児・児童・生徒が豊かな人権感覚を身につけられるよう人権教育を推進する。	
2. 事業の内容(平成22年度の取組み状況)	
人権教育に係る消耗品、教材購入を行うとともに、教職員や指導主事の人権感覚の育成や知識・態度を育成する各研究会に負担金を支払う。	
3. 点検・評価	
(1)総合評価	(A) B C D ()
(2)課題・方向性	
関係機関および市内関係各課との緊密な連携のもとで、より効果的な人権教育を推進する。	

- A 目的に適した事業推進が図られた。
- B 目的に適した事業推進が概ね図られたが、一部改善する余地があった。
- C 必要の高い事業であり実施したが、さらなる改善が必要であった。
- D その他

個別事業点検・評価調書

整理番号	8-(2)
担当室課	学校教育室 学校教育課
事務事業名	スクール・フロンティア事業
平成22年度決算額	(473)千円
1. 事業の目的	
教職員の資質向上を図る。	
2. 事業の内容(平成22年度の取組み状況)	
<p>学校園現場における様々な今日的課題や人権感覚の育成のための学校現場の主體的な企画立案による研修会を実施する。学力向上・人権教育・多文化共生教育・男女共生教育等外部講師を招いて研修会を実施する。</p>	
3. 点検・評価	
(1)総合評価	(A) B C D ()
(2)課題・方向性	
<p>学校園現場の活性化を推進するものであり、今後は教職員への周知を一層徹底する。</p>	

- A 目的に適した事業推進が図られた。
- B 目的に適した事業推進が概ね図られたが、一部改善する余地があった。
- C 必要の高い事業であり実施したが、さらなる改善が必要であった。
- D その他

平成23年度(平成22年度実施事業)

施策点検・評価調書

整理番号	施策.9
施策名	生涯学習の機会と内容の充実
施策の方向	
市民の様々な学習意欲を支援し、生きがいを感じられる活力ある社会の創造に資する。	
施策を構成する事業	
9-(1) 講座・教室運営事業 9-(2) 陵南の森公民館管理運営事業	

個別事業点検・評価調書

整理番号	9-(1)		
担当室課	生涯学習室 社会教育課		
事務事業名	講座・教室運営事業		
平成22年度決算額	(539)千円		
1. 事業の目的			
読み書きが困難な人や、視覚や聴覚に障害のある人に、識字教室や各種文化講座・社会見学に参加してもらい、生涯学習の機会充実を図り、自立した社会参加を促す。			
2. 事業の内容(平成22年度の取組み状況)			
識字教室開催回数	40回	延出席者	96人
福祉教養講座開催回数	9回	延参加者	100人
3. 点検・評価			
(1)総合評価	A (B) C D ()		
(2)課題・方向性			
生徒や受講者は皆、学習に熱心であり、講座についても喜ばれている。社会的な弱者に、積極的な社会参加の能力を高める機会を提供することは、行政の責務であると考えるが、識字教室については、潜在的ニーズの掘り起こし、福祉教養講座については、あらたな参加者の確保が課題となっている。			

- A 目的に適した事業推進が図られた。
- B 目的に適した事業推進が概ね図られたが、一部改善する余地があった。
- C 必要の高い事業であり実施したが、さらなる改善が必要であった。
- D その他

個別事業点検・評価調書

整理番号	9-(2)
担当室課	生涯学習室 社会教育課 陵南の森公民館
事務事業名	陵南の森公民館管理運営事業
平成22年度決算額	(4,110)千円
1. 事業の目的	
<p>市立公民館は市民をはじめ、市内在学、在勤者及び幼・保育園の年長園児を対象として、市民生活に即する教育、学術、文化に関する事業を進め、教育の向上と健康促進等、生活文化の振興で社会福祉の増進に寄与することを目的としている。</p>	
2. 事業の内容(平成22年度の取組み状況)	
<p>陵南の森公民館管理運営事業。 公民館は年末年始(12/30～1/4除く)1年間を通じて運営している(利用時間9:00～21:00まで。)</p> <p>事業内容</p> <p>1. 市民生涯学習講座「教養部門」歴史講座、文芸セミナー、女性セミナー(健康法)等の25講座。「入門講座」英語・韓国語・クッキングセミナー・陶芸・アクセサリー作りなど全124講座。小学生を対象としたお菓子作り、工作などの11教室開講。</p> <p>2. 公民館グループ連絡協議会との共催事業の公開講座「琴曲雅会(琴体験)」など7講座。</p> <p>3. 地域住民やサークル活動の場の提供。活動成果の発表の場として実行委員会(老人福祉センタークラブ連絡協議会を含む。)を結成し陵南ふれあいフェスタを毎年10月に開催している。</p> <p>4. 公民館のサークル・グループは組織され、公民館グループ連絡協議会として、独自の活動の事業を開催されている。</p>	
3. 点検・評価	
(1)総合評価	(A) B C D ()
(2)課題・方向性	
<p>現在の公民館を利用している年齢層が高齢化しているため、若年層の方にも気軽に利用してもらえる教室、講座などを企画していかなければならない。さらに、公民館の活性化が必要と思われる。</p>	

- A 目的に適した事業推進が図られた。
- B 目的に適した事業推進が概ね図られたが、一部改善する余地があった。
- C 必要の高い事業であり実施したが、さらなる改善が必要であった。
- D その他

平成23年度(平成22年度実施事業)

施策点検・評価調書

整理番号	施策 10
施策名	生涯学習を推進する仕組みづくり
施策の方向	
年齢や性別に関らず、誰もが生涯にわたって学習しつづけられる環境を整備していくため、助成金の交付、活動場所の提供等の支援を行ったり、近隣及び広域の自治体と情報交換の場を設けたり、施策の向上に努める。	
施策を構成する事業	
10-(1) 社会教育振興事業 10-(2) 市民文化祭事業 10-(3) 社会教育関係団体支援事業	

個別事業点検・評価調書

整理番号	10-(1)
担当室課	生涯学習室 社会教育課
事務事業名	社会教育振興事業
平成22年度決算額	(2,339)千円
1. 事業の目的	
市民の教養と文化の向上のための活動を支援し、生きがいに満ちた、活力ある社会を形成する。	
2. 事業の内容(平成22年度の取組み状況)	
<p>生涯学習を推進する団体への支援として、情報提供や活動支援、助成金の支援等を行い、自立を援助している。</p> <p>社会教育振興に係る施策向上のため、地域における情報交換の場として、大阪府及び南河内の社会教育振興協議会に参加している。</p> <p>大阪府・市町村生涯学習ネットワーク会議(ふみんネット)にも参加して、近隣市と共同で、毎年、各種講座を開催している。</p> <p>また、各単位PTA主催で行う研修会の講師謝礼について、一部負担を行っている。</p> <p>生涯学習事業助成金交付団体数 1団体 大阪ふみんネット南河内ブロック生涯学習広域講座開催 4講座 各単位PTAへの負担金交付数 幼稚園14園、小学校9校、中学校3校</p>	
3. 点検・評価	
(1)総合評価	(A) B C D ()
(2)課題・方向性	
今後、他課とも連携した、計画的、体系的な施策を研究していく必要がある。	

- A 目的に適した事業推進が図られた。
- B 目的に適した事業推進が概ね図られたが、一部改善する余地があった。
- C 必要の高い事業であり実施したが、さらなる改善が必要であった。
- D その他

個別事業点検・評価調書

整理番号	10-(2)
担当室課	生涯学習室 社会教育課
事務事業名	市民文化祭事業
平成22年度決算額	(2,557)千円
1. 事業の目的	
文化活動の奨励と普及を図り、文化振興の機運を高めることに寄与する。	
2. 事業の内容(平成22年度の取組み状況)	
<p>市民文化祭は、市民文化祭実行委員会との共催により企画・運営している。開会式のほか、20部門17大会に分かれて開催し、日頃の生涯学習の成果の発表の場を提供する。また、広く、一般に公開することにより、市民文化交流の場、ひいては、地域コミュニティ創造に寄与し、本市の市民文化を内外に発信する。</p> <p>日程:文化の日(祝)を含む10月下旬から11月上旬の土曜日曜。</p>	
3. 点検・評価	
(1)総合評価	(A) B C D ()
(2)課題・方向性	
<p>市民の文化活動の成果を発表する機会を提供・支援する事業であり、ニーズは高い。また、運営面においても、実行委員会により自主的に運営されており、今後も市民が自らの手で創り出す、地域コミュニティとして開催を続けていく。</p>	

- A 目的に適した事業推進が図られた。
- B 目的に適した事業推進が概ね図られたが、一部改善する余地があった。
- C 必要の高い事業であり実施したが、さらなる改善が必要であった。
- D その他

個別事業点検・評価調書

整理番号	10-(3)
担当室課	生涯学習室 社会教育課
事務事業名	社会教育関係団体支援事業
平成22年度決算額	(1,462)千円
1. 事業の目的	
<p>市民が、各種団体の活動に参加する中で、自己研鑽を深めていき、地域や家庭における課題に対応していく能力を高めていく。 また、各地域や分野ごとに活動している団体の連携を図り、より一層、団体のコミュニティ創造力を高めていく。</p>	
2. 事業の内容(平成22年度の取組み状況)	
<p>羽曳野市婦人団体協議会、羽曳野市PTA連絡協議会、羽曳野市文化連盟の活動支援として、助成金を交付するほか、事務的支援を行い、活動の活性化を図っている。</p>	
3. 点検・評価	
(1)総合評価	(A) B C D ()
(2)課題・方向性	
<p>行政では目や手の届かない、地域に即したきめ細やかな社会教育活動を行っている団体への支援であり、情報提供、研修会の開催等も含め、一層の活性化を支援していく。</p>	

- A 目的に適した事業推進が図られた。
- B 目的に適した事業推進が概ね図られたが、一部改善する余地があった。
- C 必要の高い事業であり実施したが、さらなる改善が必要であった。
- D その他

平成23年度(平成22年度実施事業)

施策点検・評価調書

整理番号	施策 11
施策名	図書館活動の充実
施策の方向	
地域社会の情報の拠点として、幼児から高齢の方まで、幅広い資料(情報)要求にこたえられるよう図書館資料の整備充実を図り、生涯学習を支えるための図書館サービスの充実をめざす。	
施策を構成する事業	
11-(1) 図書館管理運営事業	

個別事業点検・評価調書

整理番号	11-(1)
担当室課	生涯学習室 図書館課
事務事業名	図書館管理運営事業
平成22年度決算額	(200,393)千円
1. 事業の目的	
<p>多様化・高度化する生涯学習を援助するため、開かれた図書館として資料の収集・提供を行い、魅力ある地域社会を拓く活力あるまちの実現をめざす。</p>	
2. 事業の内容(平成22年度の取組み状況)	
<p>資料の収集・整理・保存、資料の貸出・返却・配架及び書架整理、予約(リクエスト)、調査相談(レファレンス)、相互貸借、資料の選定・発注・受入・装備、寄贈資料の受入・分類・装備、書誌データの作成・修正・維持管理、督促処理、蔵書の点検、利用者登録・利用案内、複写サービス、障害者サービス、各種講座や事業の開催(読書講演会、絵本講座、入門講座、一日図書館員、お話し会、手づくり会、読書週間行事他)、資料展示、ブックステーションやステーションライブラリ運営管理、学校図書館への援助、団体貸出、子ども文庫活動への援助、ボランティア活動管理・支援、ホームページ管理、統計処理、図書館システム管理運営等 子ども読書活動推進事業、「ダルビッシュ有文庫」設置。森のゆうびんきょく内に児童書を配置。BS支所をBSはびきのコロセアムに移転。大阪府地域福祉・子育て支援交付金により児童サービスを充実。</p>	
3. 点検・評価	
(1)総合評価	A (B) C D ()
(2)課題・方向性	
<p>図書館運営の基本方針の一つである「全域サービス」の拠点の一つであった古市図書館の早期再開を目指す。資料の確実な提供・保存を行うために、貸出確認装置(盗難防止装置)の設置を行い、セキュリティ強化と図書館環境の向上を図る。インターネットを活用したサービスを導入し利用者の利便性を図る。平成24年度から広域貸出を行う。また、的確な事業の運営を行える図書館の人員体制の確立が望まれる。</p>	

- A 目的に適した事業推進が図られた。
- B 目的に適した事業推進が概ね図られたが、一部改善する余地があった。
- C 必要の高い事業であり実施したが、さらなる改善が必要であった。
- D その他

平成23年度(平成22年度実施事業)

施策点検・評価調書

整理番号	施策 12
施策名	歴史的資源を活かしたまちづくりの推進
施策の方向	
市内にある豊かな歴史的遺産を活かし、市民に文化財を身近に感じてもらうとともに、文化的なまちづくりを進める。	
施策を構成する事業	
12-(1) 文化財保護事業 12-(2) 史跡峯ヶ塚古墳保存整備事業 12-(3) 百舌鳥・古市古墳群世界遺産登録事業	

個別事業点検・評価調書

整理番号	12-(1)
担当室課	生涯学習室 社会教育課
事務事業名	文化財保護事業
平成21年度決算額	(12,215)千円
1. 事業の目的	
<p>①市内に所在する遺跡内における個人住宅建築、公共工事及び遺跡の確認等、発掘調査にかかる経費</p> <p>②国宝・重要文化財及び登録文化財、府指定文化財などを所蔵する所有者に対して、文化財の保存や管理に要する費用の助成。</p> <p>③峯ヶ塚古墳、通法寺、応神陵古墳外濠外堤、墓山古墳の史跡清掃、翠鳥園遺跡公園管理</p>	
<p>①古市鳥飼遺跡 新規発見の遺跡で、旧流路から羽曳野市では珍しい縄文土器が出土した。</p> <p>②吉村家住宅、菅田八幡宮、壺井八幡宮、野中寺、西琳寺、長円寺、法泉寺、畑田家住宅に対し、環境整備及び所蔵管理費用として助成を行った。</p> <p>③峯ヶ塚古墳、通法寺、応神陵古墳外濠外堤、墓山古墳の史跡清掃、翠鳥園遺跡公園管理についてシルバー人材センターに管理委託を行った。</p>	
3. 点検・評価	
(1)総合評価	(A) B C D ()
(2)課題・方向性	
<p>市内における文化財全般において保存、保護に取り組んでおり、今後も引き続き事業を実施していく。</p>	

- A 目的に適した事業推進が図られた。
- B 目的に適した事業推進が概ね図られたが、一部改善する余地があった。
- C 必要の高い事業であり実施したが、さらなる改善が必要であった。
- D その他

個別事業点検・評価調書

整理番号	12-(2)
担当室課	生涯学習室 社会教育課
事務事業名	史跡峯ヶ塚古墳保存整備事業
平成22年度決算額	(3,265)千円
1. 事業の目的	
古市古墳群を代表する古墳の一つとして峯ヶ塚古墳の保存・活用を図るとともに、古墳を具体的に体感でき、歴史学習の場となるように復元整備を行う。	
2. 事業の内容(平成22年度の取組み状況)	
古墳の復元整備を進めるために、文化庁や大阪府と協議・調整を図るとともに、整備検討会の再開に向けて有識者の方々の意見を聞き、基本計画などの立案や今後のスケジュールなどの検討を行った。また、第12次の発掘調査として、墳丘前方部の南西部分の調査を実施し、想定していた位置に墳丘裾及び周濠の存在を確認した。そのため、現地公開を行い500名を越える見学者があった。	
3. 点検・評価	
(1)総合評価	(A) B C D ()
(2)課題・方向性	
古墳の復元案を具体的に進めるために、整備検討会を再開し、基本計画等の策定をすすめる。また、二重濠の範囲までを追加指定するために、文化庁及び大阪府と協議や調整を行う。一方、南側の外堤の東半部は民有地であるため、地権者の協力を得て発掘調査を実施し、調査成果を踏まえて追加指定を行う。	

- A 目的に適した事業推進が図られた。
- B 目的に適した事業推進が概ね図られたが、一部改善する余地があった。
- C 必要の高い事業であり実施したが、さらなる改善が必要であった。
- D その他

個別事業点検・評価調書

整理番号	12-(3)
担当室課	生涯学習室 社会教育課
事務事業名	百舌鳥・古市古墳群世界遺産登録事業
平成22年度決算額	(1,187)千円
1. 事業の目的	
<p>百舌鳥・古市古墳群の世界文化遺産への登録をめざして、大阪府・堺市・藤井寺市と共同して事業を推進し、古墳と歴史的景観の保全を図る。</p>	
2. 事業の内容(平成22年度の取組み状況)	
<p>示された課題解決に向けて有識者や専門家の意見を聞いて提案書の内容を深め、再度文化庁と協議を重ねた。その結果、11月には国内暫定一覧表に記載されることが日本政府として正式に決定された。その後、登録に向けた推薦書作成に関わる類似資産の比較・検討などの作業をすすめた。一方、遷都1300年祭や御堂筋カッポでのPRをはじめ、市民ギャラリーなどでのパネル展示や歴史講座・市民大学での講演など府・市民の気運の醸成に努めた。また、古市古墳群世界遺産登録推進会議では、昨年度に引き続いて「第2回ウォーク&クリーン」を開催するとともに、『古市古墳群を歩く』や『古市古墳群ウォークマップ』を作成し、販売・配布によって情報を発信した。</p>	
3. 点検・評価	
(1)総合評価	(A) B C D ()
(2)課題・方向性	
<p>来年度には世界文化遺産登録の早期実現をめざした取り組みを進めて行くために、知事や市長を本部役員とする推進本部を組織する。また、学術検討や条件整備、魅力創出や情報発信など、専門的に検討する部会において積極的に課題解決を図っていく。また、庁内の関係課による推進体制を整え、学術面だけではなく景観や都市計画にかかる検討をすすめる。</p>	

- A 目的に適した事業推進が図られた。
- B 目的に適した事業推進が概ね図られたが、一部改善する余地があった。
- C 必要の高い事業であり実施したが、さらなる改善が必要であった。
- D その他

平成23年度(平成22年度実施事業)

施策点検・評価調書

整理番号	施策 13
施策名	スポーツ・レクリエーションの推進
施策の方向	
広く市民に競技スポーツ、生涯スポーツの普及・振興を図り、健康の増進と体力の向上を図る。	
施策を構成する事業	
13-(1) 大阪府総合体育大会事業 13-(2) 市民総合体育大会事業 13-(3) 各種スポーツ大会等開催業務	

個別事業点検・評価調書

整理番号	13-(1)
担当室課	生涯学習室 スポーツ振興課
事務事業名	大阪府総合体育大会事業
平成22年度決算額	(54)千円
1. 事業の目的	
府内各地域において、大会を通して競技スポーツの普及発展とアマチュアスポーツ精神の高揚を図り、併せて健康の増進と親睦を図る。	
2. 事業の内容(平成22年度の取組み状況)	
大阪府体育連合・府市教委・大阪体育協会・各市町村体育協会が主催となり、府内各地区大会(地区内持ち回り)・中央大会(ブロック幹事持ち回り)を通じて13種目32種別に分かれて勝敗を競う。	
3. 点検・評価	
(1)総合評価	(A) B C D ()
(2)課題・方向性	
大阪府体育連合・府市教委・大阪体育協会・各市町村体育協会の主催事業であり、スポーツの普及・振興を図るために、今後も必要な事業である。 今後は、予算面等の要望ができる部分については、府に対して積極的に南河内及び市として要望を行っていく。	

- A 目的に適した事業推進が図られた。
- B 目的に適した事業推進が概ね図られたが、一部改善する余地があった。
- C 必要の高い事業であり実施したが、さらなる改善が必要であった。
- D その他

個別事業点検・評価調書

整理番号	13-(2)
担当室課	生涯学習室 スポーツ振興課
事務事業名	市民総合体育大会事業
平成22年度決算額	(2,429)千円
1. 事業の目的	
大会を通して競技スポーツの普及発展とアマチュアスポーツ精神の高揚を図り、併せて健康の増進と親睦を図る。	
2. 事業の内容(平成22年度の取組み状況)	
10種目18種別に分かれ、リーグ戦またはトーナメント戦を行い、優秀な成績を修めた団体、個人に対して表彰を行う。大会(競技)の運営にあたっては、体育協会・中学校体育連盟の協力をいただいている。	
○競技種目 ソフトボール、バスケットボール、テニス、ソフトテニス、サッカー、卓球、バレーボール、剣道、バドミントン、柔道	
3. 点検・評価	
(1)総合評価	(A) B C D ()
(2)課題・方向性	
継続して事業を行い、競技スポーツ・生涯スポーツの発展の柱的事業として充実が図られている。 今後も継続して、競技スポーツ・生涯スポーツの発展のために事業に取り組む。なお、受益者負担の採用に関して、実効委員会内で協議を行っていく。	

- A 目的に適した事業推進が図られた。
- B 目的に適した事業推進が概ね図られたが、一部改善する余地があった。
- C 必要の高い事業であり実施したが、さらなる改善が必要であった。
- D その他

個別事業点検・評価調書

整理番号	13-(3)
担当室課	生涯学習室 スポーツ振興課
事務事業名	各種スポーツ大会等開催業務
平成22年度決算額	(11,303)千円
1. 事業の目的	
スポーツを通して、市民の健康・体力づくりと参加者相互の親睦・交流を図る。	
2. 事業の内容(平成22年度の取組み状況)	
<p>母の日ファミリーバレーボール大会、3on3バスケットボール大会、ふれあいドッジボール大会、フットサル大会、市民体育祭、市民マラソン大会を開催。</p> <p>一部、施設管理委託業者に委託し、スポーツ関係団体の協力のもと各大会を実施している。</p>	
3. 点検・評価	
(1)総合評価	(A) B C D ()
(2)課題・方向性	
<p>市民に定着している事業もあり、市民の健康・体力づくりになくてはならない事業である。</p> <p>財政健全化計画に基づき、民間事業者とも連携をとりながら、現物提供等による経費節減を図り、各種団体と連携を取りながら、より一層発展していくよう取り組んでいく。</p>	

- A 目的に適した事業推進が図られた。
- B 目的に適した事業推進が概ね図られたが、一部改善する余地があった。
- C 必要の高い事業であり実施したが、さらなる改善が必要であった。
- D その他

平成23年度(平成22年度実施事業)

施策点検・評価調書

整理番号	施策 14
施策名	スポーツ・レクリエーションを推進する仕組みづくり
施策の方向	
広く市民に競技スポーツ、生涯スポーツの普及・振興を図り、健康の増進と体力の向上に寄与するため、各種スポーツ団体の活動を支援する。	
施策を構成する事業名	
14-(1) 体育指導委員協議会関係事業 14-(2) 体育協会関係事業 14-(3) スポーツ少年団関係事業	

個別事業点検・評価調書

整理番号	14-(1)
担当室課	生涯学習室 スポーツ振興課
事務事業名	体育指導委員協議会関係事業
平成22年度決算額	(2,105)千円
1. 事業の目的	
<p>スポーツ振興法に基づき、市民に対しスポーツの実技の指導その他スポーツに関する指導・助言を行う体育指導委員の活動を支援し、市民のスポーツ振興を図る。</p>	
2. 事業の内容(平成22年度の取組み状況)	
<p>市内小学校区(14校区)より各2名を体育指導委員として選出し、教育委員会が委嘱する。生涯スポーツの推進役として市民の求めに応じて、グラウンドゴルフやソフトバレーボールなど、ニュースポーツの普及に努めている。市民のスポーツ活動の促進のため、組織の育成を図り、学校、公民館等の教育機関その他行政機関の行うスポーツの行事や事業に協力している。また、スポーツ団体のみならず、その他の団体が行うスポーツに関する行事や事業にも協力している。</p>	
3. 点検・評価	
(1)総合評価	Ⓐ B C D ()
(2)課題・方向性	
<p>市民スポーツの振興のため、住民に対し、スポーツの実技の指導その他スポーツに関する指導及び助言が実現している。また、市主催の事業に運営協力をいただいている。</p> <p>今後は、体育指導委員の活動がより活発に実施できるよう、定例会議等で連携を取りながら取り組んでいく。</p>	

- A 目的に適した事業推進が図られた。
- B 目的に適した事業推進が概ね図られたが、一部改善する余地があった。
- C 必要の高い事業であり実施したが、さらなる改善が必要であった。
- D その他

個別事業点検・評価調書

整理番号	14-(2)
担当室課	生涯学習室 スポーツ振興課
事務事業名	体育協会関係事業
平成22年度決算額	(2,850)千円
1. 事業の目的	
<p>体育協会の活動を支援し、市民の体力向上とアマチュアスポーツ精神の高揚、スポーツの振興を図る。</p>	
2. 事業の内容(平成22年度の取組み状況)	
<p>体育協会の取組み</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 体育施設の拡充、整備及び市民体育向上に関する方策の調査研究。 2. 各種大会・講習会等、体育に関する各種行事の実施、援助。 3. 各加盟団体の強化発展と連絡協調。 4. 各加盟団体における各競技種目別指導者の登録及び派遣。 5. 本市、国あるいは都道府県が実施する行事への参加及び協力。 6. その他、本協会の目的達成上必要な事業。 	
3. 点検・評価	
(1)総合評価	(A) B C D ()
(2)課題・方向性	
<p>各連盟・部での大会の開催や教室の実施、また体育協会全体の事業として、日帰り初心者スキー教室などの事業を行っており、市主催事業(クリーン作戦等も含め市主催体育事業)へも率先して協力いただいている。今後も団体の活動に対して支援を行うとともに、協働して競技スポーツ、生涯スポーツの推進を行っていく。 今後は、団体の自律に向けて、助言を行っていく。</p>	

- A 目的に適した事業推進が図られた。
- B 目的に適した事業推進が概ね図られたが、一部改善する余地があった。
- C 必要の高い事業であり実施したが、さらなる改善が必要であった。
- D その他

個別事業点検・評価調書

整理番号	14-(3)
担当室課	生涯学習室 スポーツ振興課
事務事業名	スポーツ少年団関係事業
平成22年度決算額	(570)千円
1. 事業の目的	
日本スポーツ少年団の理念に基づき、スポーツを通じて青少年の心身の健全な育成を図るスポーツ少年団の活動を支援し、スポーツ振興を図る。	
2. 事業の内容(平成22年度の取組み状況)	
<p>スポーツ少年団の取組み</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 各種スポーツ活動 2. 他団体との交歓、交流活動 3. 市主催事業への参加 4. 指導者の研修事業 5. その他羽曳野市スポーツ少年団及び単位団が目的達成に必要な活動 	
3. 点検・評価	
(1)総合評価	(A) B C D ()
(2)課題・方向性	
<p>スポーツ少年団の自主事業の実施だけに留まらず、市主催等各種事業に参加するとともに、事業実施に伴う運営協力も得られており、青少年の健全育成の担い手として期待が大きい。</p> <p>今後は、スポーツ少年団の活動がより活発に実施できるよう取り組む。</p>	

- A 目的に適した事業推進が図られた。
- B 目的に適した事業推進が概ね図られたが、一部改善する余地があった。
- C 必要の高い事業であり実施したが、さらなる改善が必要であった。
- D その他

平成23年度(平成22年度実施事業)

施策点検・評価調書

整理番号	施策 15
施策名	施設の有効活用と効果的な管理運営
施策の方向	
総合スポーツセンター(はびきのコロセアム)をはじめ市内各体育施設を有効に活用し、市民の競技スポーツ、生涯スポーツ、生涯学習活動の場として提供を行うとともに、それら施設の効率的な管理運営を行う。	
施策を構成する事業名	
15-(1) 総合スポーツセンター管理運営事業 15-(2) 市民体育施設(総合スポーツセンター以外)管理運営事業	

個別事業点検・評価調書

整理番号	15-(1)
担当室課	生涯学習室 スポーツ振興課
事務事業名	総合スポーツセンター管理運営事業
平成22年度決算額	(122,835)千円
1. 事業の目的	
総合スポーツセンター「はびきのコロセアム」を有効に活用し、市民の競技スポーツ、生涯スポーツ、生涯学習の場として提供する。	
2. 事業の内容(平成22年度の取組み状況)	
<p>「はびきのコロセアム」の有効活用と効率的な管理運営を行い、市民の競技スポーツ、生涯スポーツ、生涯学習の場として提供する。</p> <p>「はびきのコロセアム」は平成9年10月に竣工し、「なみはや国体」ウエイトリフティング競技会場としてスタートした。市直営で管理運営していた「はびきのコロセアム」は、平成18年度より指定管理者制度を導入し、その管理運営等の業務を指定管理者により行っている。</p> <p>また、平成19年度より各種スポーツ教室を指定管理者により実施している。</p>	
3. 点検・評価	
(1)総合評価	A (B) C D ()
(2)課題・方向性	
<p>平成22年度より、新たに指定管理者として協定を締結し、施設の有効活用方法と効率的な管理運営方法を検討し、事業費削減につながることを積極的に取り組んでいく必要がある。</p> <p>今後は、事業の実施に市民が参加・協力できるシステムづくりも含め、管理運営にかかるコストの低減を図る。また、ニーズの高い事業の増設・展開を行うとともに、収入の増大を図る。</p>	

- A 目的に適した事業推進が図られた。
- B 目的に適した事業推進が概ね図られたが、一部改善する余地があった。
- C 必要の高い事業であり実施したが、さらなる改善が必要であった。
- D その他

個別事業点検・評価調書

整理番号	15-(2)
担当室課	生涯学習室 スポーツ振興課
事務事業名	市民体育施設(総合スポーツセンター以外)管理運営事業
平成22年度決算額	(43,853)千円
1. 事業の目的	
市内各体育施設(下記のとおり)を有効に活用し、市民の競技スポーツ、生涯スポーツ、生涯学習の場として提供する。	
2. 事業の内容(平成22年度の取組み状況)	
市民体育館、市民プール、健康ふれあいの郷グラウンド・ゴルフ場、グレープヒルススポーツ公園、石川スポーツ公園、陵南の森運動広場、テニスコート(駒ヶ谷、市民体育館屋外、羽曳が丘西北公園)の有効活用と効率的な管理運営を行い、市民の競技スポーツ、生涯スポーツ、生涯学習の場として提供する。一部施設を除き、平成18年度より指定管理者制度を導入し、その管理運営等の業務を指定管理者により行っている。	
3. 点検・評価	
(1)総合評価	A (B) C D ()
(2)課題・方向性	
<p>指定管理者とともに、施設の有効活用方法と効率的な管理運営方法を検討し、事業費削減につながることを積極的に取り組んでいく必要がある。市民体育施設の供給不足を補うため、新たな施設の開拓が求められる。</p> <p>今後は、事業の実施に市民が参加・協力できるシステムづくりも含め、管理運営にかかるコストの低減を図る。無料施設についても指定管理者制度を導入し、その管理運営等の業務を指定管理者により行うことができるよう検討を行う。</p>	

- A 目的に適した事業推進が図られた。
- B 目的に適した事業推進が概ね図られたが、一部改善する余地があった。
- C 必要の高い事業であり実施したが、さらなる改善が必要であった。
- D その他

評価委員の意見等

(安全対策)

・平成22年度から小学校の正門に防犯カメラを設置されたということですが、不審者は、まともにベルを押して入って来るような者はいないので、入って来る者がいたらベルが鳴るとか、警告灯がつく装置とかがあればいいと思うのですが。

(学校給食)

・中学校給食については、今準備を進めているということですが、弁当を作れない親がいるということから考えると、弁当も親の愛情等の位置付けもあるんですが、まず食えることができるということが大事だと思いますので、早い内に実施して頂きたい。

(放課後子どもクラブ)

・市職員や学校の先生方の負担が重くなっているようですが、元々は地域の人々が主になって行なう行事であるので、地域の人々が先頭に立ってもらえるような体制づくりが必要だと思います。人材が見つかるかどうかわかりませんが、地域のボランティアについては、団塊の世代の人で学校を退職した先生の活用ができればいいと思います。また、地域のボランティアを増やすには、リーダーを育てていくことが必要だと思います。

(青少年健全育成)

・最近、地域の子ども会もなくなってきていて、青年団活動というものが完全になくなってきています。羽曳野市の地域内に大学がいくつかあり、小中学校現場には、学生ボランティアはたくさん来て頂いているということですが、そういうのをもう少し広げることはできないでしょうか。

(成人式)

・平成23年度からLICはびきので行ない、立食パーティーもなくされたということですが、成人式の式典もそれほど華美にする必要はないと思います。

(図書館)

- ・子どもたちの活字離れが進む中で、図書館司書というのは読む力を付けるのに非常に大事だと思いますが、全ての学校に配置されていません。子ども達が自分で一から本を探すのと、毎日図書館に人がいて、どんな本を読んだらいいかの指導をしてくれるというのは全然違いますので、民間からボランティアで入れるなどして、全校に配置できるようにして頂きたい。

(文化財)

- ・百舌鳥・古市古墳群の世界遺産登録には、周辺環境整備等の問題があり、あと何年かはかかるということですが、こういうことは、行政だけでなく、市民を巻き込んで盛り上がっていくことが必要であると思います。

(まとめ)

- ・教育関係だけでなく、どんな事業でもそうであると思いますが、昔のように多くのお金をかけることができるという時代ではないので、特化して効率的に事業を行って頂きたい。
- ・羽曳野市は教育のまちの看板を掲げるくらいに、教育にもっと予算を使って頂きたい。

羽曳野市教育委員会評価委員会設置要綱

(設置)

第1条 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第27条第2項の規定により、同条第1項の点検及び評価を行うに当たって教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るため、羽曳野市教育委員会評価委員会（以下「委員会」という。）を置く。

(組織)

第2条 委員会は、委員3人以内で組織する。

- 2 委員は、教育に関し学識経験を有する者のうちから、羽曳野市教育委員会が委嘱する。
- 3 委員の任期は2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。
- 4 委員は、再任されることができる。

(委員長)

第3条 委員会に委員長を置き、委員の互選によってこれを定める。

- 2 委員長は、会務を総理する。
- 3 委員長に事故があるときは、委員長があらかじめ指名する委員がその職務を代理する。

(委員)

第4条 委員は、羽曳野市教育委員会の求めに応じ、前条の点検及び評価を行うにあたり、意見を述べるものとする。

(会議)

第5条 委員会の会議は、委員長が招集し、委員長がその議長となる。

- 2 委員会は、委員の過半数が出席しなければ会議を開くことができない。

(謝金)

第6条 委員の謝金は、日額7,000円とする。

- 2 前項の謝金は、出席日数に応じて、その都度支給する。

(庶務)

第7条 委員会の庶務は、羽曳野市教育委員会事務局学校教育室教育総務課において行う。

(委任)

第8条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が定める。

附 則

この要綱は、平成20年12月26日から施行する。

羽曳野市教育委員会組織図(平成23年4月1日現在)

